

株式会社Srustは「科学者の可能性を最大化し、研究開発領域から世界で勝ち抜く」ことを目指し、研究開発人材に特化したグローバルスキルシェアマッチングプラットフォームを運営。自然科学系から人社系まで分野を問わず、科学者の可能性を可視化することを目的として、本イベントを含めて様々な事業を展開しています。本社:東京都港区虎ノ門1-17-1 虎ノ門ヒルズビジネスタワー15





# The Hedge

視野を広げ、サイエンスでVUCAの時代を生き抜け。

科学知を最大限活用し、企業が持続的に発展するための〈リスクとの正しい向き合い方〉を知る、 グローバルセミナーの第二回目。人類の歴史において繰り返し、集団による暴力や紛争は生じて きました。戦争や民族紛争、群衆暴動、いじめ、集団非行といったものです。この講演では、社会心 理学の視点から、それらに共通して存在する"集団心理"に関して、暴力や紛争を生じさせる心の メカニズムからビジネス実践までをお話いたします。

講演



#### 縄田 健悟 氏

福岡大学人文学部准教授。九州大学大学院人間環境学府博士後期課程修了。博士(心理学)。日本学術振興会特別研究員DC2、PD、京都文教大学講師、九州大学講師等を経て、2017年より現職である福岡大学に着任。専門は、社会心理学。特に、集団間紛争と集団暴力を研究テーマとしている。近著として『暴力と紛争の"集団心理":いがみ合う世界への社会心理学からのアプローチ(ちとせプレス)』。

討論



## 松嵜 英也 氏

津田塾大学学芸学部国際関係学科講師。上智大学大学院グローバル・スタディーズ研究科国際関係論専攻博士後期課程単位取得満期退学。博士(国際関係論)。日本学術振興会特別研究員DC1、PD、ウクライナ大統領付属国家行政アカデミー客員研究員等を経て、2019年より現職の津田塾大学に着任。専門はウクライナ・モルドヴァ現代政治史、比較政治、国際政治。特にエスノボリティクスや執政制度、政軍関係を軸に、紛争が国内の政治秩序に及ぼす影響を研究。近著に『民族自決運動の比較政治史:クリミアと沿ドニエストル』(晃洋書房)。



## 大山 貴稔 氏

九州工業大学教養教育院准教授。筑波大学大学院人文社会科学研究科国際公共政策専攻博士後期課程単位取得退学。修士(国際政治経済学)。東京福祉大学国際交流センター特任助教等を経て、2019年より現職である九州工業大学に着任。専門は政治学・国際関係論。日本の対外政策を下支えする社会意識の歴史的変遷を研究テーマとしている。近著として「〈利他〉から〈利己〉へ —— 日本の開発協力政策を枠づける社会規範の転換過程」(『国際開発研究』30(1)、2021年6月、33-47頁)。

司会



## 大賀哲氏

九州大学大学院法学研究院・准教授。英国エセックス大学政治学部博士課程修了(Ph.D. in Ideology and Discourse Analysis)。神戸大学助教を経て2008年より現職。オックスフォード大学、ケンブリッジ大学、コロンビア大学などで在外研究を行う。専門は国際政治学、グローバル・ガバナンス、東アジア地域主義、ビジネスと人権、多文化共生など。主著に『東アジアにおける国家と市民社会』(柏書房、2013年)、『共生社会の再構築』(法律文化社、全3巻2019-20年、共編著)。